

2025 年春季賃金交渉妥結結果

宮城県経営者協会（会長：増子次郎東北電力㈱特別顧問）は、このほど会員企業における 2025 年春季賃金交渉妥結結果を取りまとめましたのでお知らせいたします。

I. 春季賃上げ妥結結果

春季賃上げ妥結結果調査は、2025 年の春季賃金交渉について宮城経協の会員企業を対象に調査を実施し、回答のあった 95 社のうち、集計可能な 88 社について妥結結果をまとめたものです。回答企業の内訳は、①製造業 23 社（26.1%）、非製造業 65 社（73.9%）、②地元企業 79 社（89.8%）、出先企業 9 社（10.2%）となっています。

【調査結果ポイント】

- 妥結額平均（加重平均）は 13,515 円、アップ率（算定基準賃金平均額に対する妥結額の割合）は 4.78% となり、金額・アップ率ともに、全会員を対象として調査開始した 1997 年以降では過去最高となった 2024 年を更に上回った。
- 妥結結果における賃金改善（ベア）と定期昇給の内訳を調査した結果、賃金改善（ベア）の妥結額の総平均（加重平均）は 9,593 円、アップ率 3.42%、定期昇給の妥結額の総平均（加重平均）は 3,044 円、アップ率 1.08%となった。
- 賃金改善（ベア）の実施状況は、「業績が好調・改善しているため賃金改善（ベア）を行った」が 43 社（46.3%）、「業績の改善は見られないが賃金改善（ベア）を行った」が 28 社（30.1%）、「賃金改善（ベア）は行わなかった」が 22 社（23.7%）となった。

1. 全体の妥結状況 ～平均 13,515 円、アップ率 4.78%～

宮城経協がまとめた 2025 年春季賃金交渉の妥結額の総平均（加重平均）は 13,515 円、アップ率（算定基準賃金平均額に対する妥結額の割合）は 4.78%となり、金額・アップ率ともに全会員を対象として調査開始した 1997 年以降では過去最高となった。同一企業の前年の最終妥結実績（11,893 円、4.23%）と比較すると、金額で 1,622 円の増加、アップ率で 0.55 ポイントのプラスとなった。

	2025年(A)		2024年(B)		前年比(A)-(B)	
	妥結額(円)	アップ率(%)	妥結額(円)	アップ率(%)	妥結額(円)	アップ率(ポイント)
総平均 88社	13,515	4.78	11,893	4.23	1,622	0.55

*集計した 88 社とは別に、7 社が「賃金改定（定期昇給・ベースアップ）を行わなかった」と回答している。

*参考 調査年ごとの妥結額とアップ率

	2020	2021	2022	2023	2024	2025
集計社数(社)	72	70	67	80	93	88
妥結額(円)	4,747	4,678	4,652	7,194	11,988	13,515
アップ率(%)	1.70	1.67	1.72	2.60	4.13	4.78

(注)1. 全会員企業を対象に調査

2. アップ率は同一企業の増加率

3. 回答企業は毎年異なるため、年ごとの単純比較はできない

2. 春季賃上げ妥結結果における内訳

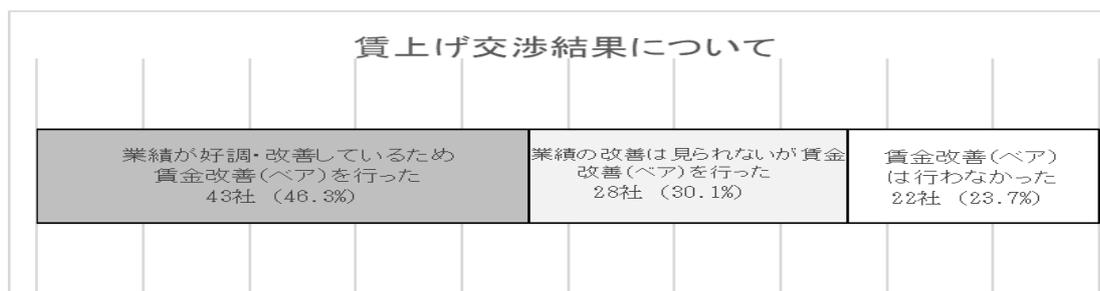
春季賃上げ交渉妥結結果における賃金改善（ベア）と定期昇給の内訳を調査した結果、集計可能回答 88 社のうち内訳の回答のあった 60 社について、賃金改善（ベア）の妥結額の総平均（加重平均）は

9,593円、アップ率3.42%、定期昇給の妥結額の総平均（加重平均）は3,044円、アップ率1.08%となった。

	賃金改善(ベア)(A)		定期昇給(B)		小計(A)+(B)	
	妥結額(円)	アップ率(%)	妥結額(円)	アップ率(%)	妥結額(円)	アップ率(ポイント)
内訳集計 可能回答 60社	9,593	3.42	3,044	1.08	12,637	4.50

3. 賃上げ交渉結果における賃金改善(ベア)の実施状況について

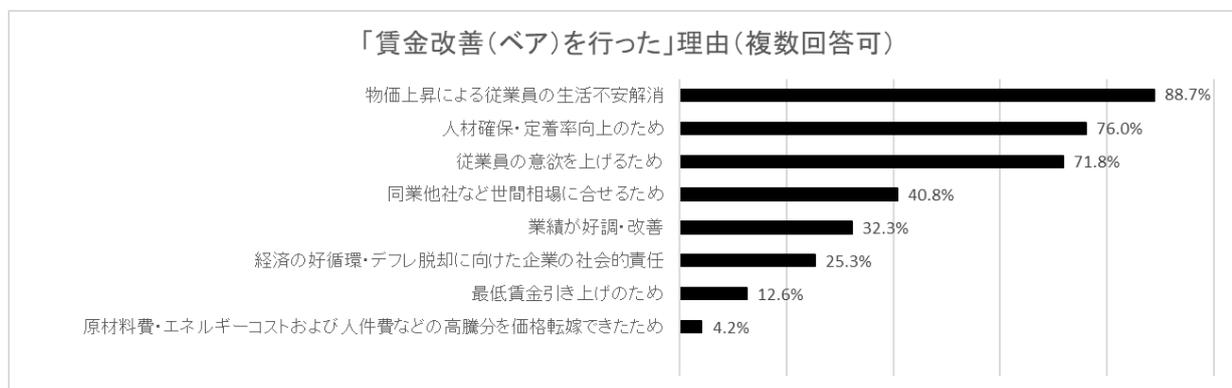
賃金改善(ベア)の実施状況を調査した結果、「業績が好調・改善しているため賃金改善(ベア)を行った」が43社(46.3%)、「業績の改善は見られないが賃金改善(ベア)を行った」が28社(30.1%)、「賃金改善(ベア)は行わなかった」が22社(23.7%)となった。(有効回答93社)



(注)小数点第2位以下四捨五入のため、合計は必ずしも100.0にならない

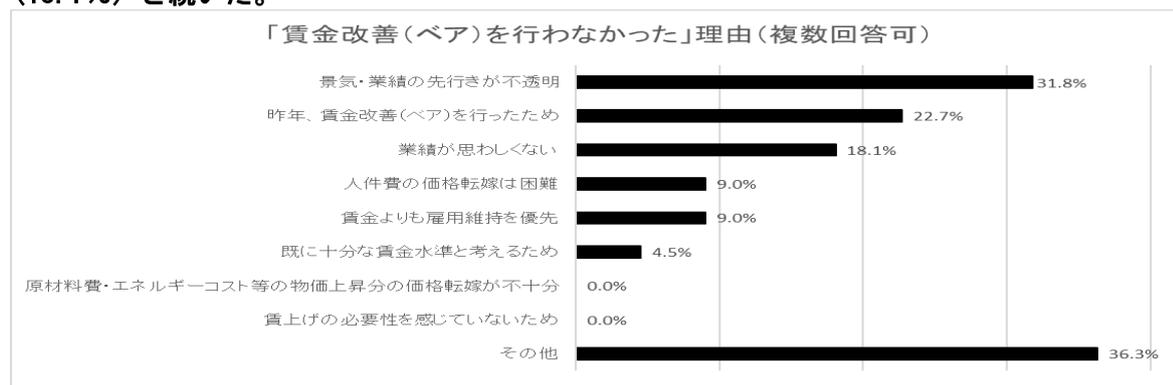
3- (2). 「賃金改善(ベア)を行った」理由

「賃金改善(ベア)を行った」理由を調査した結果(複数回答可)、「物価上昇による従業員の生活不安解消」が88.7%となり、「人材確保・定着率向上のため」(76.0%)、「従業員の意欲を上げるため」(71.8%)と続いた。



3- (3). 「賃金改善(ベア)を行わなかった」理由

「賃金改善(ベア)を行わなかった」理由を調査した結果(複数回答可)、「景気・業績の先行きが不透明」が31.8%となり、「昨年、賃金改善(ベア)を行ったため」(22.7%)、「業績が思わしくない」(18.1%)と続いた。



※その他の主な理由は以下の通り。

●価格転嫁が遅れているため

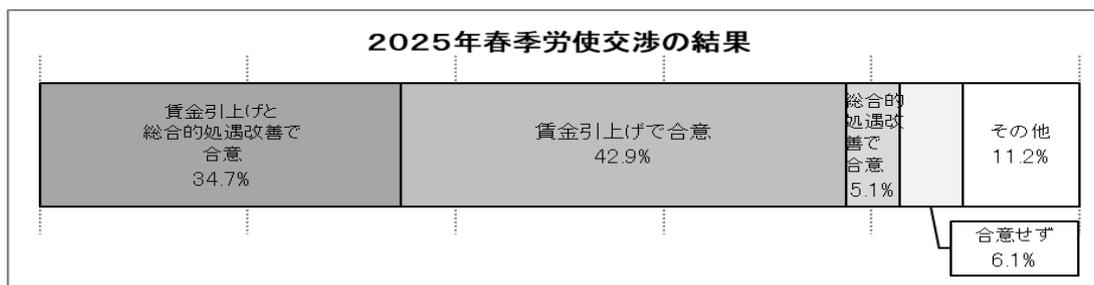
●パフォーマンスに応じた昇給を重視しているため

II. 総合的処遇改善に関する合意状況

総合的処遇改善に関する合意状況調査結果は、春季賃上げ妥結結果調査と一緒に調査を実施し、回答のあった98社について合意状況をまとめたものです。

1. 今季労使交渉の結果

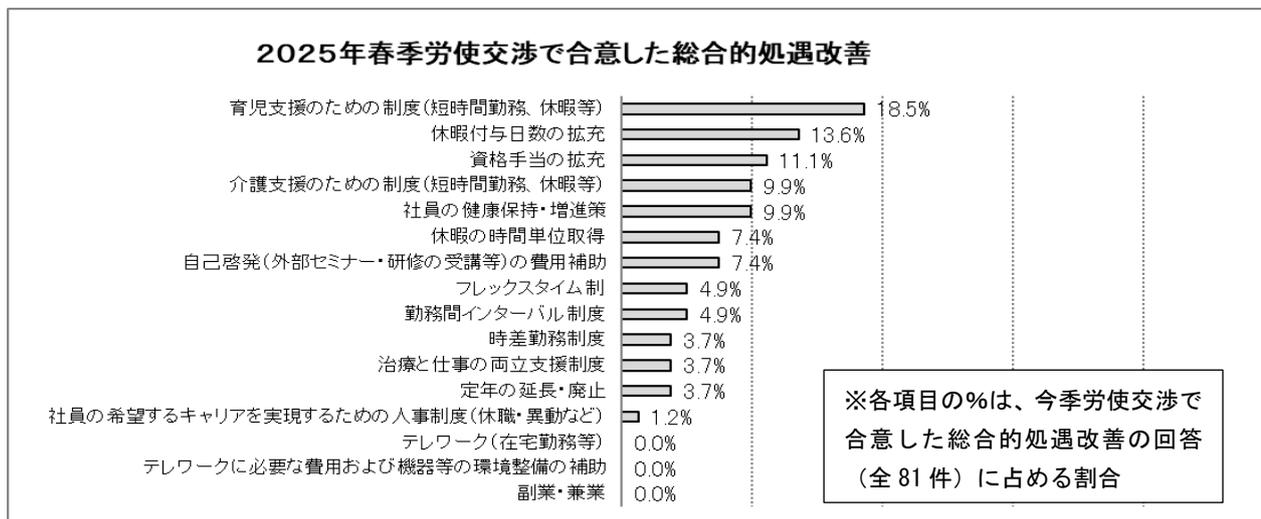
今季労使交渉の合意状況は、「賃金の引上げで合意した」が42.9%で最も多く、次いで、「賃金引上げと総合的処遇改善で合意した」が34.7%、「合意せず」が6.1%の順となった。



※「その他（11.2%）」の主な回答結果は、「労使交渉がなかった」など。

2. 今季労使交渉で合意した総合的処遇改善（制度の導入または拡充）

今季労使交渉で合意した総合的処遇改善は、「育児支援のための制度（短時間勤務、休暇等）」が18.5%と最も多く、次いで「休暇付与日数の拡充」が13.6%、「資格手当の拡充」が11.1%、「介護支援のための制度（短時間勤務、休暇等）」「社員の健康保持・増進策」が9.9%と続いた。

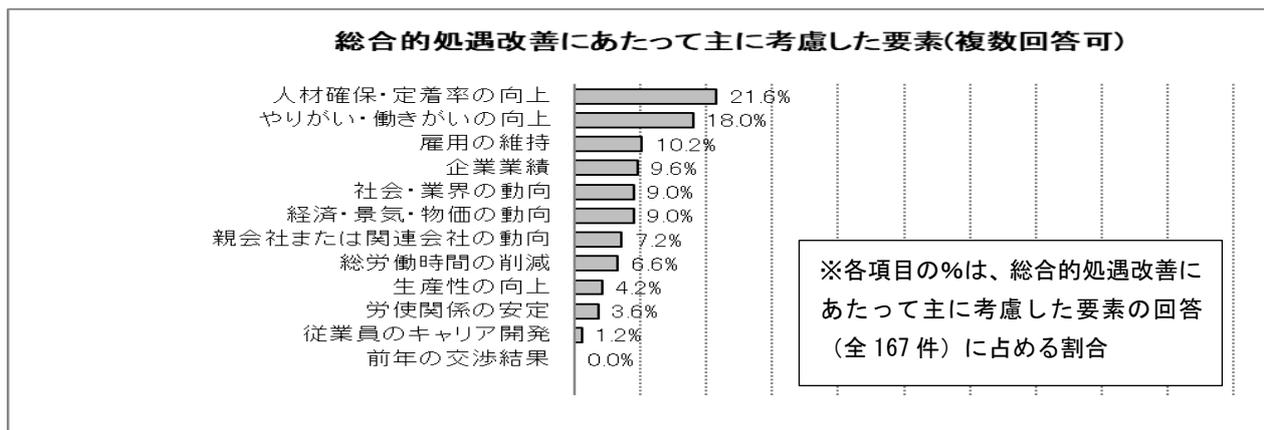


※なお、選択項目以外で回答のあった導入または拡充した総合的処遇改善は、以下の通り。

- ・技能職の役職手当の増額
- ・管理職手当の増額
- ・臨時社員に対する緩やかな評価制度の導入
- ・カフェテリアプラン制度の導入
- ・通勤時有料道路利用料金補助制度の導入
- ・燃料価格上昇に伴う通勤費の増額

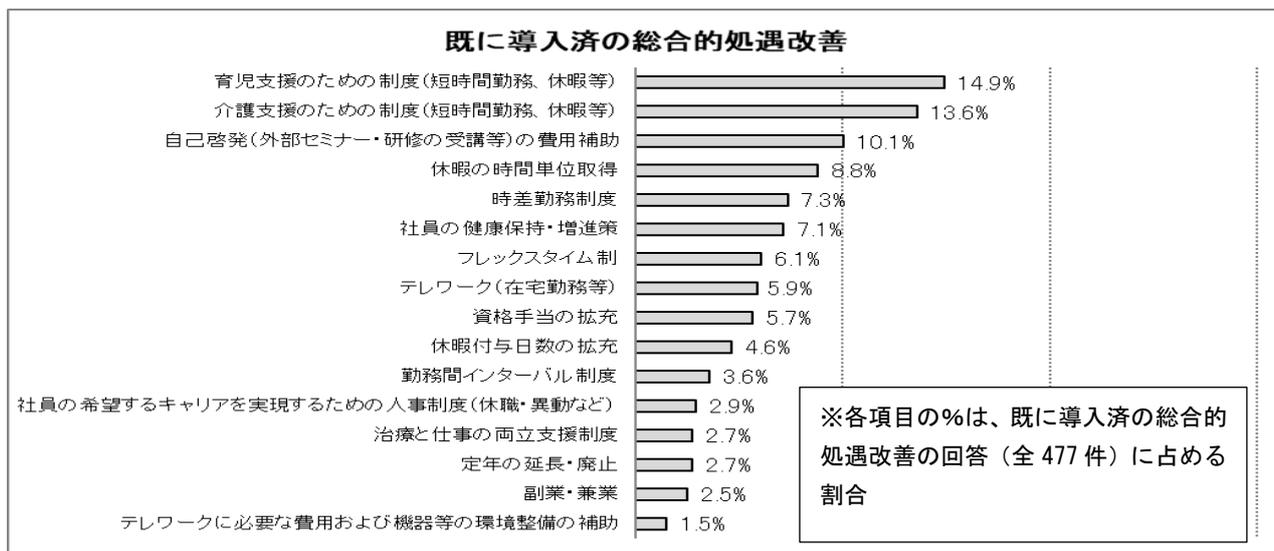
3. 総合的処遇改善にあたって主に考慮した要素

総合的処遇改善にあたって主に考慮した要素を調査した結果、回答が多い順から「人材確保・定着率の向上」が21.6%、「やりがい・働きがいの向上」が18.0%、「雇用の維持」が10.2%となった。



4. 上記2.の項目のうち、既に導入済の総合的処遇改善

既に導入済の総合的処遇改善は、「育児支援のための制度(短時間勤務、休暇等)」が14.9%と最も多く、次いで、「介護支援のための制度(短時間勤務、休暇等)」が13.6%、「自己啓発(外部セミナー・研修の受講等)の費用補助」が10.1%の順となった。



図表1 2025年 春季賃上げ妥結結果(加重平均)
(宮城経協会員企業)

[業 種 別]

【最終結果】

業 種	社数	2025年(A)		2024年(B)		前年比(A)-(B)		
		妥結額(円)	アップ率(%)	妥結額(円)	アップ率(%)	妥結額(円)	アップ率(ポイント)	
	社	円	%	円	%	円	ポイント	
製造業	機 械 金 属	7	16,456	5.64	13,586	4.44	2,870	1.20
	通 信 電 気 機 器	4	12,833	4.98	10,379	3.93	2,454	1.05
	鉄 鋼							
	電 線	3	17,123	5.82	13,056	4.61	4,067	1.21
	食 品	3	13,641	5.47	13,199	5.56	442	△ 0.09
	紙 ・ パルプ	1						
	印 刷							
	ゴ ム	1						
	化 学	2	8,841	3.78	6,828	3.08	2,013	0.70
	その他製造業	2	10,986	4.26	10,064	4.05	922	0.21
製造業平均	23	15,594	5.53	13,178	4.61	2,416	0.92	
地元企業	18	15,950	5.57	13,180	4.79	2,770	0.78	
出先企業	5	15,005	5.47	13,174	4.30	1,831	1.17	
非製造業	運 輸	8	10,907	4.53	6,942	2.87	3,965	1.66
	商 業	8	12,462	4.40	12,423	4.75	39	△ 0.35
	新 聞 ・ 放 送	3	6,678	2.51	4,287	1.69	2,391	0.82
	金 融	5	12,486	3.61	12,377	3.82	109	△ 0.21
	建 設	17	12,911	4.46	12,427	4.54	484	△ 0.08
	その他非製造業	24	11,589	4.04	10,519	3.64	1,070	0.40
非製造業平均	65	11,925	4.20	10,910	3.94	1,015	0.26	
地元企業	61	11,898	4.18	10,877	3.93	1,021	0.25	
出先企業	4	13,505	4.94	12,831	4.88	674	0.06	
総平均	88	13,515	4.78	11,893	4.23	1,622	0.55	
		(11,573)	(4.33)	(10,141)	(3.88)	(1,432)	(0.45)	
地元企業	79	13,221	4.64	11,629	4.21	1,592	0.43	
		(11,180)	(4.20)	(9,790)	(3.77)	(1,390)	(0.43)	
出先企業	9	14,922	5.44	13,155	4.33	1,767	1.11	
		(15,019)	(5.42)	(13,231)	(4.88)	1,788	0.54	

- (注) ①△印はマイナスを表わしている。
 ②平均欄の()は単純平均を表示。
 ③金額はすべてペア・定昇込みの賃上げ額である。
 ④業種別で妥結企業が1社の場合は表示していない。
 ⑤2024年の妥結額は2025年と同一企業のものである。